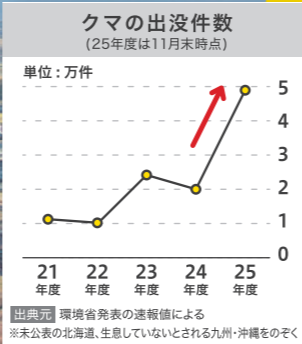


「遭遇しないこと」が

最大の安全対策

近年、各地で報告されているクマ被害を受け、野生動物との**不意の遭遇を防ぐ対策**への関心が高まっています。

クマ被害を防ぐための最大の対策は、そもそも遭遇しないこと。ベアーガードは、クマの習性を利用した“次世代の装着型アラートデバイス”です。



クマの習性

クマは視覚・聴覚ともに発達しており、人工的な光や大きな音などの異常刺激に対し、警戒して距離を取る行動を示すことが知られています。(個体差や時期・状況などにより行動は異なります)

夜間に強い視覚

目の奥にある反射層の動きにより、微かな光でも周囲の状況を正確に認識し、夜間や薄暗い環境下でも高い視認性を発揮します。



異変を察知する聴覚

森の奥で小動物が草を踏む音、枝が折れる音や葉が擦れる音など、微かな自然の環境音を逃さず敏感に察知します。



クマが異常に感じる光や音を人工的に発生させることが効果的。ベアーガードはクマが反応する**光と音の両方**を兼ね備えています。

従来商品との比較

	ベアーガード	電子ホイッスル エアホーン	鈴・ラジオ	クマよけスプレー
手段	光と音	音	音	化学刺激
有効範囲	◎ 中～遠距離	◎ 中～遠距離	○ 近距離	△ 至近距離
手放して使える	○	×	○	×
目的	存在を知らせる・威嚇する		存在を知らせる	撃退する



主に遭遇前

至近距離での遭遇時
(～約15m)



装着型アラートデバイス BEAR GUARD

光と音で「クマを遠ざける」

ベアーガードは、クマを“撃退する”商品ではありません。

高輝度LEDによる視覚的警戒と、110dBの警告音による聴覚的警戒を組み合わせ、次世代の装着型アラートデバイスです。

クマが本能的に警戒する光と音によって人の存在を早期に知らせることで、不意の遭遇リスクを低減することを目的としています。

商品概要動画
(32秒)



視覚 × 聴覚

光と音のW効果による4つの機能

<p>光</p> <p>01</p> <p>高輝度LED点滅</p> <p>赤と青の強力フラッシュによる4パターン点滅モード</p>	<p>光音</p> <p>02</p> <p>手放し警戒モード</p> <p>約30秒の「ホイッスル音とLED点滅」と約3分間の「無音」を繰り返す自動警戒モード</p> <p>詳細は裏面へ▶</p>
<p>音</p> <p>03</p> <p>110dB電子ホイッスル</p> <p>クマが嫌うとされる大音量の人工音が警告サウンドに(車のクラクション: 約110dB)</p>	<p>光</p> <p>04</p> <p>LEDライト</p> <p>停電時や日常使用の懐中電灯として</p>

シンプルな機能だからこそ、様々なシーンで活用できます

